

化学防護手袋研究会

防護手袋の適正使用を啓発

順次法改正で化学物質規制強化

化学会社などで構成する非営利の任意団体、化学防護手袋研究会(東京都中央区)は、化学物質を使用する事業者に対して、化学防護手袋の適正な使用の啓発を進めている。繊維産業においても製造工程などで化学物質を使用するケースが多いため注意が必要だ。

2015年に福井県内の事業者で発覚した化学物質の経皮暴露経路によるとみられる膀胱がん発症事案以降、その防護対策の重要性が顕在化している。この事案を受け、国は通達「化学防護手袋の適正な選択、使用等について」を17年1月に発

出し、透過に対する手袋の耐透過性クラスやその他の科学的根拠を参考に使用可能時間を設定。その設定時間を限度にした化学防護手袋の使用を事業者に義務付けた。

しかし、これらに関する基本情報が欠如しているのが実情で、化学物質の経皮暴露に適正な手袋を使用することについて

事業者が極めて困難な状態に置かれている。

同会は19年に発足し50の団体・個人会員で構成。化学防護手袋の国際的技術動向や化学物質の計測・検出、最新の加工技術の収集などに取り組む。22年以降順次、新たな化学物質規制を盛り込む改正労働安全衛生法関連法令が施行されることから、引き続き周知を図っていく。

2015年に福井県内の事業者で発覚した化学物質の経皮暴露経路によるとみられる膀胱がん発症事案以降、その防護対策の重要性が顕在化している。この事案を受け、国は通達「化学防護手袋の適正な選択、使用等について」を17年1月に発

東リ ワックスメンテナンス不要 ビニル床タイルの新ブランド

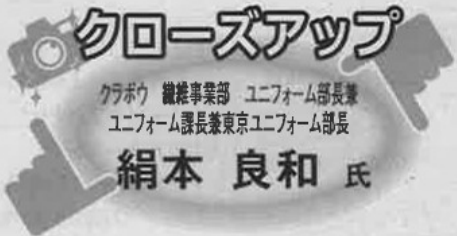


「LCT」シリーズ

東リは28日、ビニル床「CT」シリーズを発売する。タイルの新ブランド「L」

CT」シリーズを発売する。自然由来の炭酸カルシウムを主成分とした単層

自然由来の炭酸カルシウムを主成分とした単層



クワカ 繊維事業部 エニフォーム部長
エニフォーム課長兼東京エニフォーム部長

絹本 良和 氏

◆ 今後の戦略などを聞いた。



— エニフォーム事業の現況は。

新型コロナウイルス禍からの回復が進むユニフォーム事業だが、世界的なインフレ高進など事業環境も大きく変化している。4月に就任したクラボウ繊維事業部ユニフォーム部の絹本良和部長に

2021年度(22年3月期)は新型コロナウイルス禍からの回復で販売数量が前年度比10〜20%増となりました。商品内容もストレッチ素材が拡大するなど変化しました。

このため8月1日から10〜20%の値上げを実施しています。ユニフォーム部としては、難燃素材「ブレバノ」シリーズ、IEC(国際電気標準会議)規格対応制電生地「エレアス」(サポーター一体型ウェア「CBW」熱中

デフレ対応の時代は

た。ただ、綿花、エネルギー、染料・薬剤などの高騰は「独自技術を活用した高機能素材やサステイナブル素材の販売拡大」が極めて悪化しています。識したQR対応と生産性